

しんぶん 大村洋子

ヨーコ・ヨコスカ・ストーリー♪

2018年6月21日発行 146号
三浦半島地区委員会 公郷2-21-1
046-851-1123
大村・携帯 090-1107-0498
ブログ [大村洋子](#) →検索



やっぱり、解せない 「はつらつニアパス」の対象年齢引き上げと料金値上げ

市は今年12月の販売分から対象年齢を65歳から70歳に引き上げ、金額を17,900円から19,600円に負担増にしています。引き続き京浜急行バスとも協議するしていますが、少なくとも現行どおりにしてほしいと思います。



内閣府の高齢社会白書 17年版

65歳～69歳は家計にゆとりがなく多少心配→28.9%
家計が苦しく非常に心配→8.8%
合計で37.7%の方々に経済的不安が認められます。

石炭火力に未来はない！ 脱石炭が世界のトレンド！

公聴会で発言しました。



脱石炭の世界の流れから大幅に遅れをとっている日本。しかし、確実に石炭火力は追い詰められていると実感します。目先の利益ではなく人類存亡に立脚して希望を持って仲間とともに活動していきます！

性的暴行、飲酒トラブル、薬物事件 全部、原子力空母の乗組員

今年に入って立て続けに起きている米兵による事件。特に麻薬については基地内の10人以上が関与していたと言われ、司令官はわざわざ「米海軍は薬物の乱用は一切許容していない」と声明。

大村:「乱用は否定しているが“使用”は否定していない」

市長:「大村議員はナーバスだ」

大村:「市長は楽観的すぎる」

私が「使用はしているのかもしれないのでは？」と問うと市長は「かつて、あの時代にはあったのかもしれないが…」と言いながら「米海軍を信じている」と言い、根拠の乏しい答弁に終始しました。

大村:「米海軍の行方『教育プログラム』を視察してほしい」

市長:「視察にぜひ行きたい」

「教育プログラム」とは日米の慣習の違いを理解するための日本文化やマナー、日本の交通法規などの研修のことです。

私は前市長の時から、市長みずから視察することの重要性を訴えてきましたが、上地市長になってようやく実現することとなります。報告についてもしっかり求めたいと思います。

米兵であろうと、日本人であろうと犯罪は悪いこと
なぜ、共産党はそんなにこだわるのか？

私たちが質問するたびに歴代の市長は必ずこう言わんばかりの答弁を繰り返します。どんな人物であろうと犯罪は悪いことには違いありませんが、十把一絡げに論じるのは間違っています。なぜならば、米軍は日米地位協定によって特権的に守られていて決して対等ではありません。罪を犯しても基地の中に逃げてしまえば、日本の警察が捜査できないのです。ですから、米海軍はあくまでも軍隊であり、「良き隣人」との甘い見方は禁物なのです。

3月議会、6月議会と2度連続して浦賀のコモンシティ自治会から、開発を止めてほしいという請願が出されました。3,000㎡を超えれば6m道路や公園を設置しなければならないのに意図的に基準以下の開発を連続して逃れようとしているのです。

都市部長答弁

「次の開発がいつになるのかわ客観的に時期がわからないので、連続するミニ開発と判断できない。」

大村洋子質問

「条例が実態に合わなくなっている、運用に限界が出てきているということではないか」

連続するミニ開発



都市部の見解

「都市計画法の中で許可申請が出されて基準に適合していれば許可しなければいけないという義務です。」

市長答弁

「開発行為の規制は土地所有者の財産権を侵害するおそれがある。見極める必要。研究しなきゃいけない。」

2013年の開発審査会の見解

「馬堀町の旧民生寮跡地は連続するミニ開発。脱法行為として違法とされねばならない。」

良好なみどりや住環境を守ることと土地の所有者の自由な開発行為や事業者の企業利益の問題は、相反する場合があります。大変難しい問題だと思います。しかし、今回の吉井1丁目の開発問題は、明らかに連続する「ミニ開発」であり、いくら市長や都市部がほしいの連続する開発だと客観的に見て取れないと言つても、それは詭弁だと思えます。人口減少問題を抱える中で、新築戸建て住民を増やしたいという背景があるのでしようが、一方で空き家も増え、みどりを削る政策が今、住んでいる住民にとって住環境の悪化につながらないのか、大所、高所から俯瞰的にまちづくりを考えることが必要です。



紹介状のない場合初診料が5,000円に
うわまち病院・市民病院

病気になった際に、どの病院に行っても診てもらえる「フリーアクセス」。これは日本医療の誇るべきところ。

一方、厚労省は大病院への患者の集中を抑えたい意図を持って、紹介状のない場合に初診料をとる方針を出しました。

こうして紹介状がない場合は初診料として2,500円払わなければならない、400床以上の大きな病院が対象で、市立2病院である「うわまち病院」と長坂の「市立病院」も対象です。それが10月からは2倍の5,000円にする議案が今回出されました。現在2病院で1日に10人くらいが紹介状なく初診料を払っているとのこと。そして、この推移は5,000円になっても変わらないとの答弁でした。

私たちはこの議案に賛成することはできません。

学校給食センター整備運営事業者選定委員会が設置される運びです。

委員は建築関係、衛生管理、金融関係の専門家が構成員となり7月から開会される予定です。傍聴など行って引き続き注視していきたいと思えます。

法律相談やっています

中村晋輔弁護士が丁寧にお話を聴きます。

おひとり、30分間、無料です。

6月26日(火)、7月26日(木)

いずれも17時～19時まで。

場所は浦賀の共産党事務所

電話予約をお願いします。

大村洋子へ 090-1107-0498